

探究のプロセスと育成すべき資質・能力の関係（案）

平成28年5月30日
生活・総合的な学習の時間WG
資料3-4

■小学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■問題状況の中から課題を発見し設定する ■解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ■手段を選択し、情報を収集する ■必要な情報を収集し分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■問題状況における事実や関係を把握し理解する ■多様な情報の中にある特徴を見付ける ■課題解決を目指して、事象を比較したり、関連付けたりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■相手や目的、意図に応じて分かりやすくまとめ、表現する ■学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする
探究活動と自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする（主体性） ○自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、課題解決に向けて取り組もうとする（自己理解） ○探究的な課題解決の経験を自信につなげ、次の課題へ進んで取り組もうとする（内面化） 			
探究活動と他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の解決に向けて探究活動に協同的に取り組もうとする（協同性（協働性）） ○異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、目標の達成に向けて取り組もうとする（他者理解） ○探究的な課題解決が実社会・実生活への興味・関心へとつながり、進んで地域の活動に参加しようとする（社会参画、社会貢献） 			

知識

実社会の課題に関する事実的知識^(※)の獲得

概念的知識^(※)の形成

※総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

技能

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け)

■知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する ■技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

■ 中学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する ■ 仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する ■ 必要な情報を収集し、多角的に分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えを持つ ■ 視点を定めて多様な情報を分析する ■ 課題解決を目指して、事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相手や目的、意図に応じて論理的に表現する ■ 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす
探究活動と自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題に誠実に向き合い、課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする（主体性） ○ 自分のよさを生かしながら探究活動に向き合い、責任をもって計画的に取り組もうとする（自己理解） ○ 探究的な課題解決の経験を自己の成長と結び付けて考えることができ、次の課題へ積極的に取り組もうとする（内面化） 			
探究活動と他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いの特徴を生かすなど、課題の解決に向けて探究活動に協同的に取り組もうとする（協同性（協働性）） ○ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、互いを理解しようとする（他者理解） ○ 探究的な課題解決が社会の形成者としての自覚へとつながり、積極的に社会活動へ参加しようとする（社会参画、社会貢献） 			

知識

実社会の課題に関する事実的知識^(※)の獲得

概念的知識^(※)の形成

※総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

技能

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け・多面的)

■ 知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する ■ 技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する

■ 高等学校

	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な社会状況を踏まえて課題を設定する ■ 仮説を立て、それに適合した検証方法を明示した計画を立案する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的に応じて臨機応変に適切な手段を選択し、情報を収集する ■ 必要な情報を広い範囲から迅速かつ効果的に収集し、多角的、实际的に分析する 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 複雑な問題状況における事実や関係を構造的に把握し、自分の考えを形成する ■ 視点を定めて多様な情報から帰納的、演えきの考察する ■ 事実や事実間の関係を比較したり、複数の因果関係を推理したりして考える 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相手や目的、意図に応じて手際よく論理的に表現する ■ 学習の仕方や進め方を内省し、現在及び将来の学習や生活に生かす
探究活動と自分自身	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題に真摯に向き合い、より適切な課題の解決に向けて探究活動に主体的に取り組もうとする（主体性） ○ 自分の特徴を生かし当事者意識と責任感をもって探究活動に向き合い、計画的に着実に取り組もうとする（自己理解） ○ 探究的な課題解決の経験の蓄積を課題解決への信念や自信、自己肯定へとつなげ、更に高次の課題に取り組もうとする（内面化） 			
探究活動と他者や社会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 互いを認め特徴を生かし合うなど、課題の解決に向けた探究活動に協同的に取り組もうとする（協同性（協働性）） ○ 異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究活動に向き合い、互いを尊重し理解しようとする（他者理解） ○ 探究的な課題解決の経験の蓄積が、自己有用感や実社会・実生活に貢献しようとする態度へとつながり、社会の形成者としてよりよい社会の実現に努めようとする（社会参画、社会貢献） 			

知識

技能

実社会の課題に関する事実的知識^(※)の獲得

概念的知識^(※)の形成
学ぶことの意義や価値の理解

※総合的な学習の時間で扱う内容は各学校において定めることとなっているため、知識の具体は各学校において異なる。

課題設定のスキル

情報収集のスキル

思考のスキル

表現のスキル

(比較・分類・関連付け・多面的・構造的)

■ 知識は、学校種が上がるほど高度化・構造化する

■ 技能は、思考スキルを中核とし、学校種が上がるほど自覚化・脱文脈化する